

## 2022年度 福祉助成金(活動助成)成果報告書

ふりがな	たいわのよるしえんをまなぶかい・おかやま	
団体名	対話による支援を学ぶ会・岡山	
代表者名	亀山有香（茶屋町在宅診療所・院長）	
連絡先	住所	〒710-1101 岡山県倉敷市茶屋町 360-12(茶屋町在宅診療所内)
	TEL	086-429-0033(茶屋町在宅診療所)
	E-mail	taiwa.shien.okayama@gmail.com
	URL	<a href="https://taiwashienokayama.wixsite.com/dialogue">https://taiwashienokayama.wixsite.com/dialogue</a>
設立年(西暦)	2019年	
助成活動名	Okayama-Dialogue-Project ～対話による支援、精神的な支援手法をもっと地域で活用しよう～	
助成額	500,000円	
活動内容	目的	近年、地域共生社会や地域包括ケアが提唱され、認知症のある高齢者や精神に障がいのある方々が住み慣れた地域でともに生活するために、行政機関や専門職が提供するフォーマルな支援(共助・公助)だけでなく、地域互助組織や地域住民自身等によるセミフォーマル・インフォーマルな支援(互助・自助)が期待されている。また、「8050問題」に代表されるように社会的支援の狭間にあった大人の発達障害や引きこもり対象者への支援も潜在的ニーズが高く注目されている。しかしながら支援のファーストタッチを担う、支援者、及び地域住民や民生委員、包括支援センターの職員等がそれらに関する経験不足により声掛けや支援介入を躊躇してしまうことも多いとされている。そうした現状をふまえ、地域社会がもっと「対話」的になれば、やさしく早期に解決可能な課題があるのではないかと考えた。当該経緯を踏まえ、「対話的に包括されるやさしい社会」の形成を目指すため、任意団体「対話による支援を学ぶ会・岡山」を有志で発足。上記活動の効果的実施のために当該助成を活用し、下記を実施した。
	内容	当該助成年度では対象を「支援者」として、下記3つの活動を実施した <b>①対話による支援を学ぶ会・岡山「定例会」</b> …原則毎月第3木曜日に開催。定期学習会と支援者の語りの場を提供。 <b>②研修会「ダイアログ・ワークショップ」</b> 開催日：【基礎編】2023.1.22【発展編】2023.2.19（会場：倉敷物語館） 講師には対話支援の実技指導では定評のある後藤智行氏を招聘。対話による支援の基本形を学ぶため、少人数での演習+集合対面開催のワークショップを開催。 <b>③記念講演「対話主義的実践を地域の文化に」</b> 開催日：2023.3.4（倉敷市市民会館） 講師には対話支援の分野においては実践を伴う第一人者として大変著明である白木孝二氏を招聘。対話による支援の学術的な側面に加えて、豊富な実践を踏まえた支援例などをわかりやすく解説。また一方的な講義スタイルではなく、白木氏とワークショップ講師の後藤智行氏、障がい福祉分野において対話実践を先駆的に導入している企業経営者の神谷牧人氏とのクロストークを実施した。
	成果	上記内容の活動をして下記の成果を実感している。 <b>■支援者は「対話による支援」に関心があるだけでなく「対話できる場」を求めている</b> …定例会や研修ではじっくり対話できる演習型研修ならではの共感と理解の場としても機能した。対話実践を濃厚に学ぶ研修内容は参加者評価も非常に好評であった。 <b>■支援者は日頃の日常業務において対話支援のスキル向上を求めている</b> …相談手法としての「対話」をよりよいものにするために、さらなる学びを求めて研修の受講を希望する支援者が予想以上に地域にいたことが判明。対話支援ニーズを実感。 <b>■「対話による支援」に興味を持ち、活動に参画・協力してくれる支援者の増加</b> …会の運営に協力、継続して企画に参加していただける地域の支援者メンバーが増加傾向にある。同様に地域活動団体からも対話支援の研修依頼等も増加した。

今後の課題と  
対応策

■企画対象者の制限解除（例：研修受講者の参加資格制限）

2022年度は「支援者支援」をテーマとしていたため開催した研修等はすべて対象を医療・福祉・教育等の相談や支援を担当する「支援者」（実務者）に限定した。しかし、支援者・実務者ではないものの、地域活動において対話に支援による支援を希望する地域活動団体関係者や、いわゆる「経験専門家」の方々にも門戸を広げてほしいとの要望を多数いただいた。今後は支援専門職と一般市民の方との基礎知識・理解度等が異なる中でどのような企画立案するかが課題と考える。（なお、2023年度は制限を解除した企画運営方針としている）

■講師招聘のため活動資金確保

著名な講師を招聘する際には講師謝礼・旅費等の支弁が必要となる。今回の助成金の大半は当該支出が大半を占めるが、今後、こうした活動を継続していくためには、助成金に依存しない財務が重要となる。講師からも提案があったことであるが、学びの場に参加するためには、相応の参加者負担が必須であり、それが専門職としてのリカレント教育（専門職養成課程から離れて社会に出た後も、それぞれの人の必要なタイミングで再び教育を受け、仕事と教育を繰り返すこと）においても重要であることから、相応の参加者負担（参加費）を設定するようにした。今後は当該金額の価格設定・調整が課題と思われる。

**研修会「ダイアログ・ワークショップ」【基礎編】 2023.1.22**



**研修会「ダイアログ・ワークショップ」【発展編】 2023.2.19**



写真の提出

**③記念講演「対話主義的实践を地域の文化に」(2023.3.4)**





(参考)

## 【2023.1.22 2.19 ワークショップ 広報ピラ】

公益財団法人橋本財団助成記念プログラム

### 対話による支援を学ぶ ダイアログワークショップ 2 Days (基礎編・発展編)

【開催日時】  
①2023.1.22 (日) ②2023.2.19 (日)  
(両日とも10:00-16:30)

【会場・参加費】  
会場：倉敷物語館2F会議室 (倉敷市阿知2-23-18)  
参加費 ¥6000 (¥3000×2 Days)

【参加資格】  
医療・福祉・教育等の現場で相談や支援などの実務を担当している「支援者」

【ワークショップの特徴・内容】  
少人数(定員20名)での演習+集合対面開催  
■対話による支援の基礎(基本姿勢・哲学)を学ぶ  
■対話実践(ダイアログ)を演習形式で体験・学ぶ

【参加申込方法】  
左記のQRコード(Peatix)を利用してお申込ください。  
<https://odp2022-1.peatix.com/>

【問合せ先】「対話による支援を学ぶ会・岡山」事務局  
〒710-1101 倉敷市茶屋町360-12(茶屋町在宅診療所内)  
TEL: 086-429-0053 E-mail: taiwa.shien.okayama@gmail.com

## ワークショップ企画説明

ここ数年よく「オープンダイアログ」という言葉を耳にするようになりました。対話(ダイアログ)による支援について関心のある方々から「そもそもダイアログって何だろう?」「どうすれば実践できる?」「まずは私が体験してみたい」などの声をいただくことができました。このワークショップでは上記のような疑問・要望に応えるべく日本各地で対話実践を行っている第一人者の講師をお招きして、まずは支援の基本となる「ダイアログ」についてわかりやすく学ぶ機会を提供することとしました。是非、この機会に「対話による支援」をじっくり学んでみませんか?

## ワークショップ企画説明

この講座は基礎編・発展編の2部構成で構成されているため、原則として2回連続で受講をできる方が対象となります。また第3回研修(2023年3月4日)の記念講演の聴講も同時に履修していただくと対話実践の学びをさらに深めることができます。  
(第3回研修終了後に受講生の交流を深める企画「夜のダイアログ」を開催計画中です。当該企画にも是非ご参加ください。)

## 講師：後藤智行氏

日本精神保健福祉士協会 発達障害プロジェクトチーム・チームリーダー。複数の法人でダイアログ実践をベースにスーパーバイザーを行っている。フィンランドのダイアログの第一人者であるトム・アンキル氏から直接指導を受け、日本では白木孝二氏に師事し日々指導を受けている。ダイアロジカルアプローチを用いた臨床を重ね、支援者向けのトレーニングを実施している。



当該研修は橋本財団の福祉活動助成を活用しております



## 【2023.3.4 記念講演会 広報ピラ】

### 記念講演 「対話主義的实践を 地域の文化に」

開催日時：2023年3月4日(土)  
10:00-16:30

会場：倉敷市民会館1F 「ギャラリー藤」  
(倉敷市本町17-1)

参加費：¥4000

【招待講師】  
Nagoya Connect & Share 代表 白木孝二氏  
【ファシリテーター】  
後藤智行・神谷牧人氏

【申込方法】  
下記のQRコード(Peatix)を利用してお申込ください  
(<https://odp2022-2.peatix.com/>)

【参加に関する留意事項】  
この講演は当該助成記念プログラムWS参加者、及び、医療・福祉・教育等での相談や支援を担当する「支援者」、またはすでに対話による支援を実践している「対話支援実践者」に限定しております。あしからずご了承ください。

【問い合わせ先】  
「対話による支援を学ぶ会・岡山事務局」  
TEL: 086-429-0053 (茶屋町在宅診療所内)  
E-mail: taiwa.shien.okayama@gmail.com

## 記念講演・企画趣旨

この講演では「対話主義的实践を地域の文化に」と題した講演を開催します。講師は対話支援の分野においては実践を伴う第一人者として大変著明である白木孝二氏をお迎えしてご講演いただきます。対話による支援の学術的な側面に加えて、豊富な実践を踏まえた支援例など支援実践者にとって非常に示唆に富む内容となっております。また一方的な講義スタイルではなく、白木氏と後藤氏でのクロストークや、会場参加者を巻き込んだ双方向の対話的なコミュニケーションで講演は展開されます。助成記念プログラムの締めくくりとして相応しい記念講演となるよう、鋭意準備中です。

さらに当日は実際に日本各地で対話支援を実践している「対話実践者」にも、ご来場いただき、交流を広げていただきたく試みも検討中です。

是非、この貴重な機会にご来場いただきたく、医療・福祉・教育など、地域において相談・支援などの支援実践をなされている皆様のご来場を心待ちにしております。  
これをきっかけに対話による支援が文化になることを、地域で対話による支援が普及する一助になれば幸いです。

### 【招待講師】白木孝二氏

【経歴】 Nagoya Connect & Share 代表 臨床心理士  
対話による支援の第一人者であり、数々の対話実践者を育成。各種専門書の翻訳を手掛ける。ダイアログ関連の研修会を継続的に開催している。  
対話支援業界の「マスター・ヨーダ」的存在でもある。

### 【ファシリテーター】

後藤智行・神谷牧人氏

【後藤智行氏 経歴】  
日本精神保健福祉士協会・発達障害プロジェクトチーム長等を歴任。講師・白木先生に教えを請い対話実践を日本各地で実施している実践者。

【神谷牧人氏 経歴】  
株式会社アソシア代表。2006年のデンマーク留学をきっかけに、沖縄で(株)アソシアを起業。市町村の障害福祉計画策定委員や総合計画策定委員などまちづくりに参加。2015年に日本精神障害者リハビリテーション学会理事も務め、主に精神・発達分野で活動。



当該企画は橋本財団の福祉活動助成を活用しております

